

☆中野理事長、論議会議で講演

☆救う会情報

☆特別コラム「平和の見えない中東」

第89号 2002年5月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 田中 慶秋
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
第5須賀ビル6階
TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp
購読料 年間 1,000円
(会員の購読料は会費の中に含む)

友愛連絡会と更に連携強化

民社協会は、4月4日(木)に平成14年総会後初めての常任役員会を衆議院第1議員会館において開催した。

出席者は、米澤会長、中野理事長、玉置理事長代行、今泉・中井・鎌滝の各副理事長、田中専務理事、西村相談役、中田常任顧問、林事務局長の計10名。

常任役員会は、米澤会長の挨拶で始まり、続いて田中専務理事が政策研究会「政研21」の活動状況及び今後の予定を報告し、了承した。

協議事項では、14年総会の活動方針を受けて、当面する以下の6項目を協議した。

①選挙対策本部の構成について②友愛連絡会との定例会議について③ブロック会議との連携について④ブロック理事の辞任及び後任の選任について⑤『月刊民社』および『地方政治情報』の請求時期について⑥政研フォーラムへの研究委託について

その結果、以下のように確認・決定した。

1の「選挙対策本部の構成」については、①総選挙に関する連絡会会長に平田理事、副会長に今泉並びに鎌滝副理事長を選出、事務は専務理事を中心に行う。②地方議員選挙は総選挙と一体と考えられるので地方選挙対策連絡会の役員も上記の方々をお願いする。

選挙態勢については、友愛連絡会との関係が重要なので今後も密接な連携を図っていくことが確認された。

2の「友愛連絡会との定例会議」については、①2ヶ月に1回を目途に友愛連絡会と定例的な会議を行う。②5月13日(月)に懇親会を開催することを確認した。参加対象者は、友愛連絡会構成組織代表者並びに民社協所属国会議員。

なお、第1回の会議は、5月13日の懇親会の直前に開催することが決った。

3の「ブロック会議との連携」については、①早期に国会議員団役員会を行い、②ブロック担当議員団連絡会を開催し、分担の再確認とブロック会議への対応を協議し、早急に連携態勢を整える。

4の「ブロック理事の辞任及び後任の選出」については、小山善次郎氏より南関東ブロック理事の辞任願が提出されたことを受け、協議した。が、小山氏については、引き続き理事を勤めてもらう。南関東ブロック理事については、南関東ブロック会議を開催し、担当理事の選出を行うことが確認された。

5の「『月刊民社』『地方政治情報』の請求時期」については、本年前期は周知期間とし、代金の請求は後期から行う。いずれも地方協会を窓口にする、ことを再確認した。

6の「政策研究フォーラムへの研究委託」については、政策研究フォーラムに民社協会の「基本理念」の研究委託を要請する。期間としては、年内を目途に提言を頂く。早期に政研フォーラムと打合せ会議を持ち、具体的な要請を行う。

地方・ブロックの動き

静岡県民社協会

第8回定期総会開催

静岡県民社協会は4月13日15時から静岡市内にて、役員、代議員60名が出席し、第8回定期総会を開催した。

総会は秋山弥美会長の挨拶に続いて来賓として臨席された4名の民主党衆議院議員・参議院議員、更に清水市長から、丁寧な祝辞をいただき議事に移った。

1号議案の活動方針では、来年6月を目途に組織を見直すことを盛った原案が提案され、質疑の中で「現場では不

況で、会費を集めるのに苦労している。もっと早く組織の見直しを図れないか」などの意見が出され、執行部からは「幹事会で検討する」との答弁があり、活動方針は全会一致で可決された。

2号議案新年度予算、3号議案統一地方選挙必勝決議は異議なく満場の拍手で採択された。

総会終了後、統一地方選挙必勝を期して、参加者全員による記念パーティーを催し、盛会のうちに終了した。



挨拶する秋山弥美会長